だんないの道

第56号



2023 年7月25日発行

発行者:NPO 法人 CIL だんない

代表者:美濃部裕道

連絡先:〒529-0423

滋賀県長浜市木之本町千田681番4

TEL: 0749-50-3639

E-mail: info@cil-dannai.jp

代表あいさつ・・・・・・・・・・・P1	2022 年度総会の報告・・・・・・・・P 3
いよいよ新年度スタート・・・・・・・・P35	ボディメカニクスの奥深さ・・・・・・P37
もうすぐ13年・・・・・・・・・・P38	活動報告・・・・・・・ P39
ちょこっと紹介! だんないブログ。・・・・・P41	編集後記·····P48

代表あいさつ

梅雨明けの週末。サンサンと照り付ける太陽が突き刺さる陽気の中で、今すぐにでもどこかへ出かけたいという思いをグッと我慢して、この原稿を書いています。そういえば梅雨に入るまでの期間、だんないの北西に位置する涌出(ゆるぎ)山の深い緑を見ながらサツマイモの苗に水やりをしていたのですが、何とも言えない気持ち良さがあります。水やりが終わっても、だんないに帰らず、ふらっとお散歩したくなっちゃいました(笑)。

さて、5月に総会があり、皆様のおかげで全ての議題が可決され、無事に終わることができました。総会 資料につきましては、後の頁に掲載していますので、ご確認ください。今年度もまた、活動と事業を継続す ることができます。会員の皆様をはじめ、ご協力いただいている全ての皆様方に改めて感謝申し上げます。 そして、引き続き緊張感を持って、襟を正して活動にいそしんでいきたいと思います。

6月からは、いよいよ本格的な活動シーズンに入っています。地域生活塾・職員研修・ボッチャを活用してのまちづくり・BBQ・夕涼み会など、企画が満載の夏となっています。今思えば、ほんの少し前までコロナの影響や、法人・職員のゴタゴタなどもあり、満足のいく活動や生活が送れていなかったように思いま

す。「ぼくは、だんないで何がしたかったんやろう」とか、「職員面談だけで1日がおわってもた」とか、そんな運営しかできない自分自身に対して疑心暗鬼になった時期もありました。

そこから少しずつ抜け出すことができたきっかけになったのは、介助職員も含めての役割分担を進めることでした。それまでは「当事者主権」という考え方のもとで、「障害当事者の指示があるまで基本的には動かないで」と言ってきました。基本的な考え方としては、とても大切なポイントだと今も思います。しかしながら、その「基本的には」の部分が「絶対に」と、いつの間にか伝わ(え)るようになってしまったのだと思います。こうして、職員の自主性や責任感までも奪ってしまったのかもしれません。

その理由を今も明確にはわかりませんが、その時にいた介助職員のメンバー的に、そのように伝えないと 勝手に動かれてしまうという不安があったのかもしれません。または、私たち当事者に「パターナリズム(保 護的な関わり)」のヘルパーに対する過剰なアレルギーがあったのかもしれません。

今になって冷静に考えると、あのような経過をたどったことは、ある意味で成るべくして成ったというか、 当時はそうするしかなかったのだと振り返っています。ありがたいことに、現在は介助職員のメンバー的に も「パターナリズム的な関わり」に対してのケアをしないといけない人は、それほどはいません。加えて、 私たち当事者も加齢とともに、過剰なアレルギーが少なくなったかもしれません。

その「今」だからできること。それが「指定居宅介護事業所さざなみ」の基盤整備だと考えています。一定程度の自主性と責任感を持ってもらいながら、いつの日か「だんない」と「さざなみ」の協同する関係性へと構築できればと思います。このような描いた理想にはまだまだ遠いですが、確実に近づいていると実感しています。それを完遂できれば、近い将来、美濃部が今以上にイベントや活動とあちこちへ飛び回れるようになるはずです。このような展望を描きながら、ひとつひとつ環境を整えていきたいと思います。

もちろん、当事者主権・指示介助・訊く・待つ・押し付けない・リズムを乱さないなど、どこまでも当事者と向き合い続けるという意識・だんないイズムの追求はやめません。進むべき方向性は照らし続けたいと考えています。それを前提として、さざなみの基盤整備に取り組んでいきたいです。そのために、まずだんない当事者(理事)として足元を見透かされないように、経営・運営にしっかりと取り組みたいです。

最近、「男はつらいよ」をDVDで観ることがありました。あちこちへ自由気ままに出かける寅さんにうらやましさを感じ、「いつか、ぼくもこんなふうに活動できれば」と心躍らせながら、未来の自分と重ね合わせていました(笑)。フーテンの寅さんならぬ「だんないのみのやん、またどっかに行っちゃって・・・」と、あきれられる日がやってくるかもしれません。

美濃部 裕道(みのべ ひろみち)

2022年度事業報告

NPO法人CILだんない

1

2022年度 事業報告 一はじめに一

22年度は、これまで大きな影響が出ていたコロナも少しずつ落ち着きはじめ、理想に近い事業実績を残すことができました。前年度の1.5倍ほどの291事業の実績数でした。その中で特に、4年前までは当たり前のように開催していたシンポジウムやBBQなどの大型イベントを開催できたことは感慨深いものがありました。

一方で、障害当事者職員が減少傾向にあり、活動パフォーマンスは一時期に比べると不足していることは否めません。それでも、<mark>介助職員を含めてひとりひとりが役割をにないながら、</mark>パフォーマンス不足を<mark>全員野球でカバー</mark>し、最大限の活動を展開していくことができました。

具体的な取り組みとして、法人組織図の再構成、ラインワークス導入による情報共有の迅速化、中長期方針の明確化、労務管理・会計事務の軽減に努めました。これによって、職員ひとりひとりの活動や職務に対する意識や姿勢の変化が生まれ、チームとしてひとつひとつの事業に臨むことができました。

また、こうした取り組みと同時に、研修などにより当事者主権やCIL本来の介助姿勢に対する見つめなおしを行い、「訊く・待つ・押し付けない・リズムを乱さない」といった基本姿勢や、休む際の対応・利用者との距離感などの勤務意識の再確認にも努めました。これによって、当事者の意思を大切にすることの意識は変わらないように対処しつつも、「サークル感」・「お友達集団」からの脱却を図りました。

いろいろな事情を抱えた介助職員にとっては、徐々に変わる状況の中で、全てを受け入れて理解することは簡単ではなかったとは思います。それでも、その都度決定する対応についてきてくれました。何かと苦慮ことは多かったはずですが、対応してくれた職員には感謝しています。

こうして築いてきた基盤の中で、各事業の充実につながったと考えています。今後も、この12年で起こった様々な出来事を教訓として生かし、襟を正して気を引き締めながら、ひとつひとつの出来事に対応したいです。そして、「楽しむ・変える・つながる」の基本方針に沿った活動をしていきたいです。

2022年度 障害福祉サービス及び介助者派遣事業報告 (1)

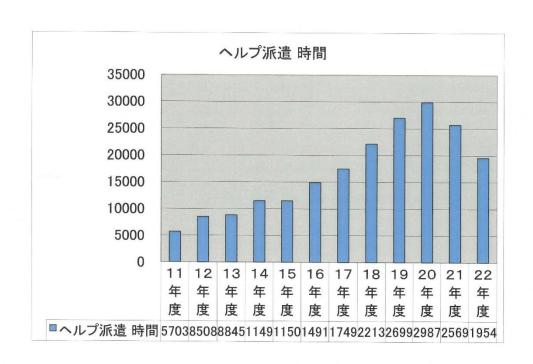
成果

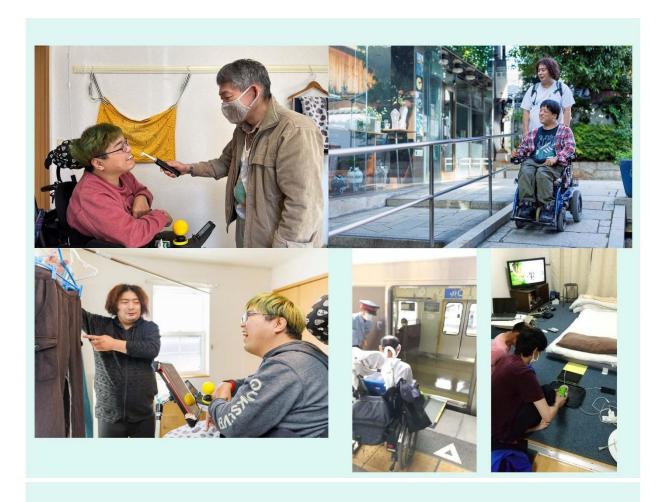
- 「さざなみ」が開所し、12年が経ちました。
- 介助者職員は現在16名です。
- 利用者はこれまでと同様に<mark>脳性麻痺や視覚障害者が</mark>おられました。当事者職員の退職にともない、筋ジストロフィーの方の利用はなくなりました。
 - 施設から出られた利用者の地域生活も定着しました。
 - <mark>職員の変動も減り、基盤が安定し、</mark>常時介助が必要な方の自立生活を 継続して支援できました。
 - これまでお断りしてきた利用も少しずつ受けられるようになってきました。
 - コロナの影響も少なくなり、<mark>外出介助・余暇介助を含め</mark>、利用者の自分 らしい生活をサポートすることができました。

提供時間数

- 2021年度⇒25690時間(内、移動5003.5時間)
- 2022年度⇒19543時間(内、移動5976.5時間)

前年数值目標26000時間 新年度目標20000時間





2022年度 ヘルパー育成事業報告(1)

成果

- 計画的で、だんないらしい研修を実施
 - 外部講師を招いての介助技術の研修
 - パーティ・パーティの椎名さん、YOLO FUKUIの北山さん、JCILの渡邉さんを招き、3回シリーズで介助に対する姿勢などについて研修を行いました。
 - 内部研修では、ボディメカニクスや調理実習を行いました。
- 課題を共有した上での研修を実施
 - これまでは職員への研修内容の周知が不十分でしたが、職員への課題共有に努め、より前向きな意識で受講できました。

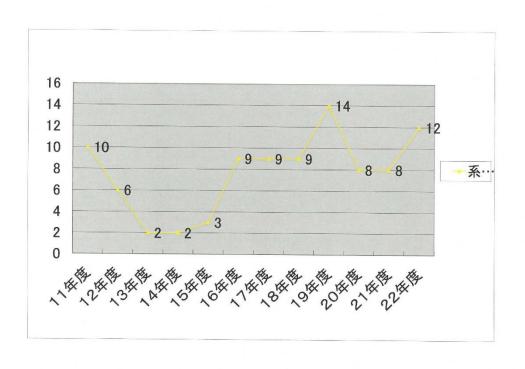
2022年度 ヘルパー育成事業報告(2)

・次年度への課題

- 今後も、計画的で、だんないらしい研修実施に努め、基本の徹底とタイムリーな課題の共有を図りたいです。また、内部研修においても個々に応じた課題に取り組める研修を実施したいです。

・ 主な活動報告

- 研修会実施 全12回(前年度8回、50%增) 前年度数値目標 10回 今年度数値目標 12回











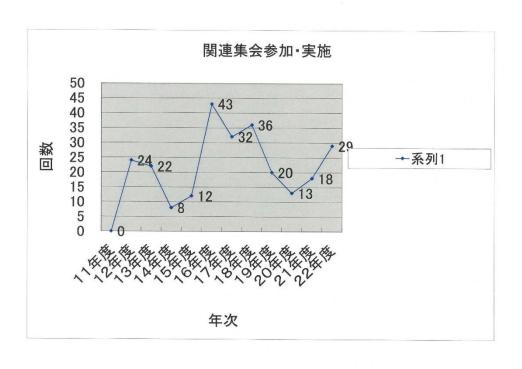
障害者の権利擁護事業報告(1)

· 成果

- 施設からの地域移行が定着した方の生活について、複数 の事業所と一緒にケース会議を行いました。
- 社会部を中心に、滋賀県旧優生保護法情報公開請求訴訟の裁判傍聴に行きました。年度末には結審が出て、請求していたうちの一部が公開されることとなりました。

課題

- 今後も、当事者視点を大切にした活動を模索したい。
- 主な活動報告
 - 関連集会 全29回 (前年度18回 61%増) 前年度数値目標 20回 新年度目標 30回
 - ケース会議への出席 全17回 (前年度11回 55%増)
 - 行政アクション 8回 (前年度3回) 2.7倍





2022年度 障害者の地域における自立生活保障事業報告 (1)

• 成果

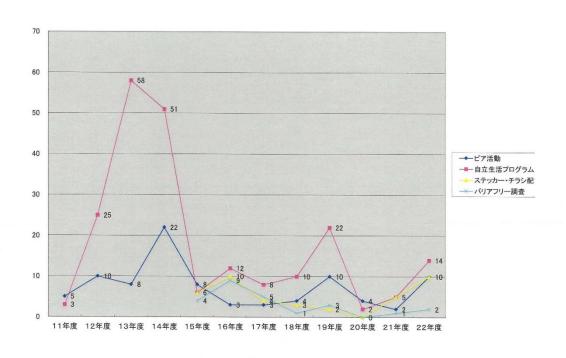
- 重症心身障害者通所施設へのピア活動「ピアピア」 の継続的な実施や、「地域生活塾」の積極的な参加 を行いました。
- コロナ禍で控えていた<mark>外部研修</mark>の参加も積極的に行いました。
- 「啓発ビワイチ企画」も年間を通して取り組み、南部 圏域まで足を延ばすことができました。
- イベント部が機能し、パワフルな活動を展開しました。
- 次年度への課題
 - 今年度も、チーム力を活かした活動を展開したいです。

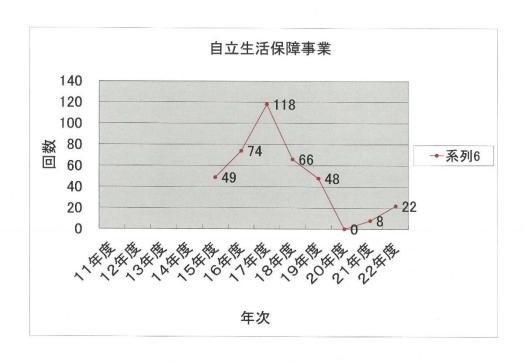
2022年度 障害者の地域における自立生活保障事業報告 (2)

- ・ 主な活動報告
 - 自立生活プログラム 全59回

(前年度21回 2.8倍)

- ピア活動 10回 (前年度2回 5倍)前年度数値目標 5回 新年度目標 12回
- 内部自立生活プログラム14回 (前年度5回 2.8倍) 前年度数値目標 8回 新年度目標 12回
- 啓発チラシ配り 10回 (前年度5回 2倍) 前年度数値目標 6回 新年度目標 10回
- バリアフリー調査・研修 2回 (前年度1回 2倍) 前年度数値目標 2回 新年度目標 3回
- 外部研修 22回 (前年度8回 2.8倍) 前年度数値目標 10回 新年度目標 25回









2022年度 余暇活動保障事業報告(1)

· 成果

- 3年ほど遠ざかっていたBBQ、ちょこっと祭り、サラダ パンカップ、ポジティブキャンプ、交流会、シンポジウ ムは開催にこぎつけることができました。
- 生き生きサロン・元気マンサロンは、ともに毎月1回開催され、高齢者の方の居場所づくりに寄与できました。
- 電動車椅子サッカー・ボッチャは、活動の停滞が続きましたが、大会やイベントの開催で活動再開のきっかけとなりました。
- マルチスイッチさんとの共催イベントも好評でした。

2022年度 余暇活動保障事業報告(**2**)

・次年度への課題

- 地域交流イベントに力を入れながら、それぞれの活動内容を 融合させることを念頭に、これまで交流が少なかった子ども・男 女の高齢者・障害者のインクルーシブ化を図り、4年ぶりとなる 「だんないまつり」の開催に結実させたいです。
- サッカーやボッチャの活動も、本格的に再開させ、新 たな当事者との出会いに期待したいです。

・ 主な活動報告

- 全45回(前年度16回) 2.8倍

前年度数值目標 20回 新年度目標 40回

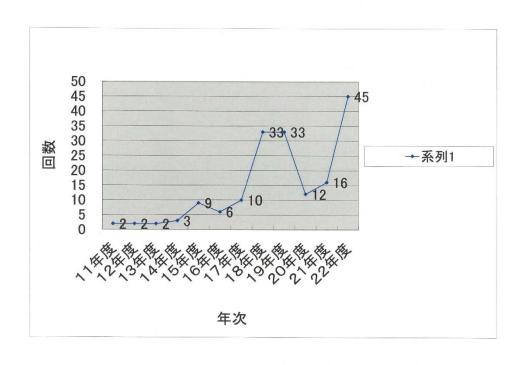
• 地域交流 32回(前年度12回) 2.7倍 新年度目標 30回

• ボッチャ 5回(前年度0回)

新年度目標 5回

• サッカー 6回(前年度4回) 1.5倍

新年度目標 5回







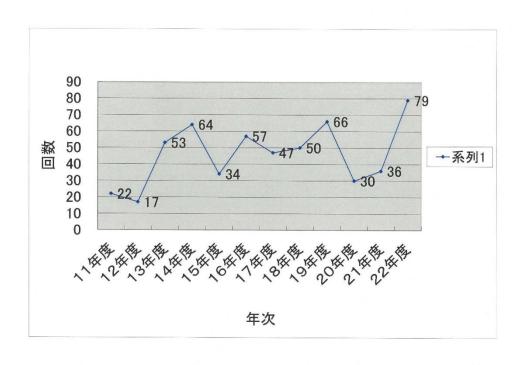
2022年度 **障害観変革事業報告(1)**

成果

- 新しい写真やスライドを用いて、<mark>障害者の地域生活や障害の社会モデル</mark>を伝えられました。
- ボッチャを教えてほしいという依頼も多く、インクルーシブスポーツの普及にも努めました。
- 民生委員や更生保護女性会など各種団体の依頼もありました。
- <u>重度訪問介護やピアカウンセリング</u>について伝えてほしいといった依頼 もありました。

・ 次年度への課題

- より多種多様な組織や団体に向けて、社会モデルのみならず、<mark>多様な価値観が認められることの大切さ</mark>を伝えていきたいです。
- さまざまな手段の活用を検討し、パターナリズムからの脱却と人権モデルの周知を目指したいです。
- 事業数 全79回(前年度36回)2.2倍
 前年度数値目標 40回 新年度目標 70回











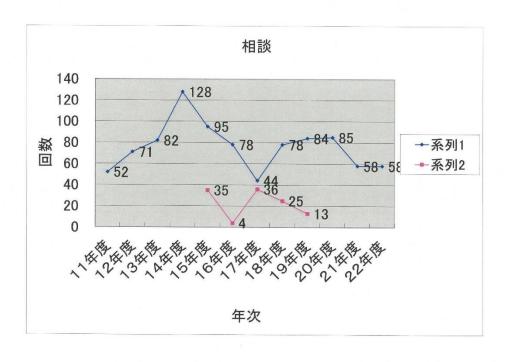
2022年度 福祉に関する情報提供・相談事業報告(1)

相談事業

- 成果
 - 地域の高校への入学を希望する方や、県外の大学への入学を希望する方の相談を受けました。
 - 民生委員の方から、地域活動の新たな取り組みに対する相談がありました。
 - 福祉事業所関係者らと、圏域のまちづくりに関する意見交換を行いました。
- 次年度への課題
 - バリアフリー基本構想やユニバーサルデザインのまちづくりについての動きが活発化していくことを見込んで、あらゆる面で準備を進めていきたいです。
 - 子ども、高齢者、障害者のインクルーシブ化に向けた取り組みについて、関係者との協議を進めていきたいです。
- 主な活動報告
 - 相談件数 全58件(前年度58件) 横ばい

前年度数值目標 70件 新年度目標 60件

4月3件、5月7件、6月8件、7月11件、8月11件、9月2件、 10月3件、11月4件、12月2件、1月3件、2月2件、3月2件



2022年度 福祉に関する情報提供・相談事業報告(2)

・会議への出席

- 成果
 - 自立支援協議会への参加は少し減少しましたが、その他の会議に 出席することが増え、ほぼ例年並みとなりました。
 - ここ最近目立った動きがなかった行政会議も、再開されました。
- 次年度への課題
 - 自立支援協議会のシステムが改変されたので、CILとして当事者の 存在意義を発揮したいです。
 - まちづくりに関するさまざまな会議もあるので、あらゆるマイノリティーの見方に立った発言を心がけたいです。

2022年度 福祉に関する情報提供・相談事業報告(3)

・ 主な活動

- 会議への出席 全99回(前年度103回)1%減

前年度数值目標 100回 新年度目標 100回

• 自立支援協議会への出席

• 全体会議

• 運営委員会

• 事務局会議

• 重介護・医療ケア検討部会

• 当事者サポーター推進委員会

• 権利擁護部会

• 虐待防止分科会

・ 発達しょうがい者支援部会

74回(前年度85回)11%減

7回(前年度1回)

6回(前年度8回)

13回(前年度12回)

7回(前年度9回)

11回(前年度7回)

6回(前年度5回)

6回(前年度9回)

14回(前年度16回)

福祉に関する情報提供・相談事業報告(4)

- その他の会議

- 滋賀県障害者差別のない共生社会づくり委員会 1回(前年度1回)
- 長浜市地域福祉活動計画推進委員会
- 米原市権利擁護センター運営委員会
- ぽてとファーム評議委員会
- ユニバーサルデザイン検討推進専門分科会
- 長浜市地域福祉計画検討委員会
- 長浜成年後見・権利擁護センター運営委員会
- ・ 障害者芸術文化活動支援センター協力委員会
- 長浜市社会福祉協議会評議員会

5回(前年度2回)

2回(前年度2回)

2回(前年度1回)

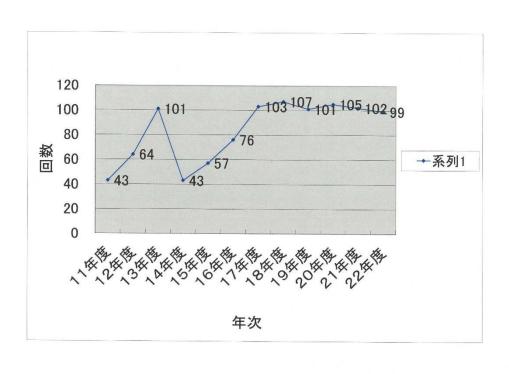
2回(前年度0回)

2回(前年度4回)

6回(前年度3回)

3回(前年度3回)

2回(前年度1回)







2022年度 障害者団体のハブ的機能としての支援事業報告(1)

成果

- マルチスイッチさんをはじめとする、いろいろな団体とコラボして、スナックや着物・ネイルサロンなど、多くのイベントを開催しました。
- これまであまり関わりのなかった女性当事者や、地域に住む 一般の方々ともつながれたことが大きな収穫でした。
- JICA(国際協力機構)からの当事者受け入れや、県外の交流事業も再開され、「外に向く取り組み」が実践できました。
- ボッチャを活用した関連イベントも多く開催され、障害理解やインクルーシブスポーツの普及に、大きな効果をもたらしました。

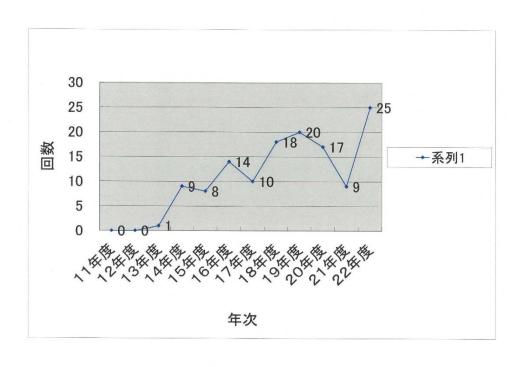
2022年度 障害者団体のハブ的機能としての支援事業報告(2)

・次年度への課題

- 脱コロナを見据える中で、この事業がポイントになってくる と考えており、さらなるコラボレーションを目指します。
- 安定的な取り組みを進めるためにも、計画的で余力を保 つ運営に努めたいです。
- ボッチャを活用した取り組みも、より強化したいです。

・ 主な活動報告

- 行事 25回(前年度9回)3倍前年度数値目標 10回 新年度目標 25回















事務機能請負事業報告(1)

成果

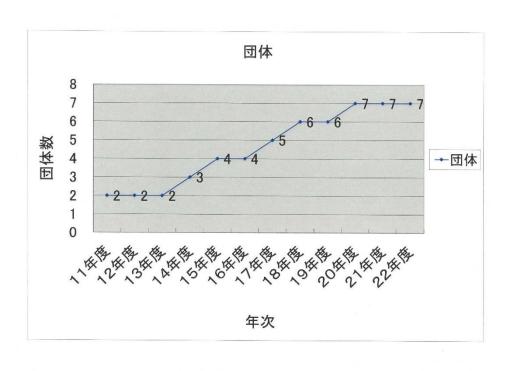
- 今年も7団体の事務を請け負いました。
- 思い通りの活動ができなかった団体もありましたが、<mark>活動が活発化する団体が増えてきました</mark>。

・ 次年度への課題

- 今後も、頑張っている団体を応援できる体制を作っていきたいです。
- この事業は、「ハブ的機能支援事業」と連動する関係性なので、基盤強化に 努めて、それぞれの団体の「プラットフォーム的役割」を担えればと思います。

• 請負団体

- 共成会
- F.C.LUTESTAR SHIGA
- 彦根ILP
- NEW BREESE 湖北
- 滋賀県電動車椅子サッカー協会
- オフィスゆうき
- マルチスイッチ





広報・出版に関する事業報告(1)

• 成果

- 広報誌『だんないの道』の発行
 - 「だんないの道」の発行は、広報部が機能し、年間5回を維持しました。
 - 内容については、リアルな思いが込められた職員リレートークと編集 後記や、ブログ投稿記事とチラシの掲載など、読みごたえのある内容に充実することができました。
- ブログ・Facebook・インスタ・スローガン
 - ブログの更新についても、前年の70回をさらに大きく上回る164回と 駆け上がるように伸び、PRに力を入れることができました。
 - 写真の撮影もプライバシーに配慮しながら、より魅力を伝えることを 意識しました。
 - ホームページもリニューアルし、「理念と楽しさを伝えることのバランス」を意識した構成にすることができました。
 - だんないの歌も完成しました。

広報・出版に関する事業報告(2)

- ・次年度への課題
 - だんないの道
 - コンスタントに年間5回発行というペースを維持しつつ、 その時のリアルな思いを伝えることを意識したいです。
 - ブログ・Facebook・インスタ・スローガン
 - さらに魅力的な発信ができるように心がけます。
 - インフォメーション
 - 長袖ユニホームを今年度中に製作したいです。
 - プロモーションビデオの制作にも取り掛かりたいです。

2022年度

広報・出版に関する事業報告(3)

- 発行 全5回(前年度5回)

前年度数值目標 5号 新年度目標 5号

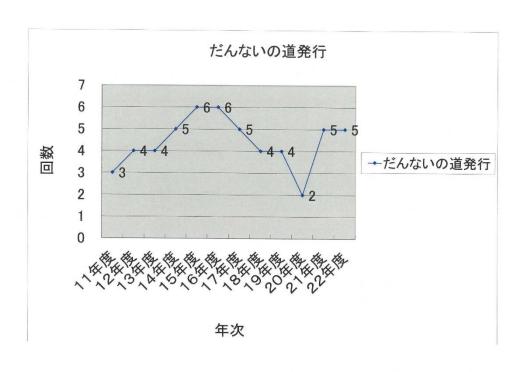
- だんないの道 第50号 2022年5月23日
- ・だんないの道 第51号 2022年7月8日
- ・だんないの道 第52号 2022年9月9日
- だんないの道 第53号 2022年12月3日
- ・だんないの道 第54号 2023年1月11日
- ブログ更新 164回(前年度70回) 2.3倍

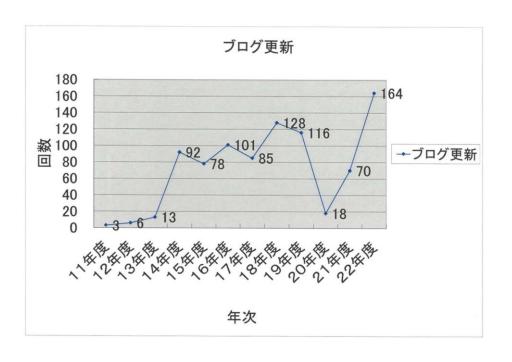
平均いいね インスタ20.7(前年度26.5)

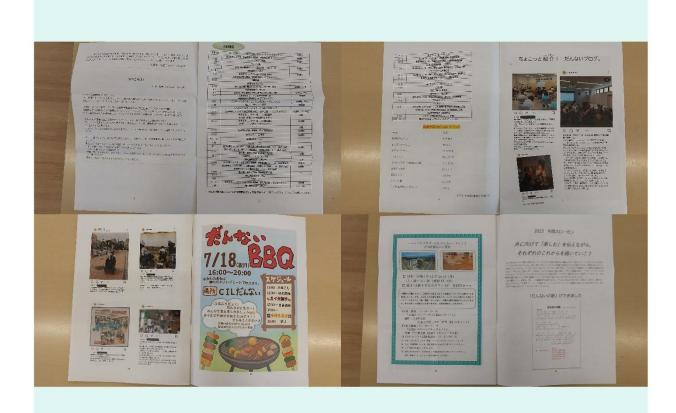
フェイスブック25.2(前年度15.6)

前年度目標 80回 平均いいね20 新年度目標 120回 平均いいね22

- 取材 3回(前年度4回)









活動計算書

(単位:円)

NPO法人CILだんない	自 令和4年4月1日	至令和5年3月31日
経常収益		
受取会費		250, 000
正会員受取会費	200, 000	
賛助会員受取会費	50,000	
受取寄附金		106, 150
受取寄附金	106, 150	100, 100
	100, 100	68, 037, 813
事業収益	60 027 012	00, 031, 613
受託事業収益	68, 037, 813	740,000
その他の収益		746, 092
受取利息	62	
維収益	746, 030	
<u>経常収益計</u> 経常費用		69, 140, 055
<u>経常収益計</u> 経常費用		
事業費		
人件費		51, 524, 516
支払報酬	711, 866	
	38, 248, 242	
┃ ┃ 法定福利費	11, 893, 448	
■ 退職給付費用	334, 720	
福利厚生費	336, 240	
その他経費		11, 300, 097
■ ■ 諸謝金	552, 065	
印刷製本費	1, 536, 723	
車両費	1, 086, 917	
┃ ┃ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	2, 291, 739	
消耗品費	1, 201, 621	
水道光熱費	820, 295	
■ ■ 賃借料	240, 000	
┃ ┃ ┃ 保険料	1, 725, 430	
┃ ┃ 諸会費	485, 666	
租税公課	143, 400	
支払手数料	271, 262	
支払利息	506, 088	
	438, 891	
世界 中光井記	450, 051	60 004 619
事業費計		62, 824, 613
管理費		21
┃ ┃ ┃人件費	entitle in	0
人件費	0	
その他経費		1, 464, 371
減価償却費	1, 464, 371	87 98
管理費計		1, 464, 371
		64, 288, 984
経常費用計 当期経常増減額		4, 851, 071
dort all by the M.		
経常外収益	-	· 0
経常外収益	0	
経常外収益計		
経常外費用		0
経常外費用	0	
経常外費用計		0
経常外費用計 当期経常外増減額		0
	重増減額	
税引前当期正味財産	生 均 /	4, 851, 071
前期繰越正味財産額	<u> </u>	2, 520, 925
次 期 繰 越 正 味 財 産 *	頂	7, 371, 996

	na-at na-a	
貸借対	照 表	
NPO法人CILだんない	Δ±n =	(単位:円)
全事業所 資 産 の 部	G 山木 叮	年3月31日現在
流動資産		
現金預金		8, 383, 662
普通預金	6, 133, 662	3,000,002
定期積金	2, 250, 000	
未収金		11, 841, 702
流動資産合計		20, 225, 364
固定資産		10 100 253
有形固定資産 建物	0 001 050	10, 460, 056
■ ■	8, 031, 052	
車両運搬具	2, 024, 601	
機械及び装置	147, 538	
	256, 864	
無形固定資産	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	677, 820
ソフトウェア	677, 820	*
固定資産合計		11, 137, 876
資 産 合 計		31, 363, 240
負 債 の 部		
流動負債		
未払金		3, 702, 409
短期借入金		324, 835
一年以内返済予定長期借入金 流動負債合計		2, 808, 000 6, 835, 244
加勒貝頂百 <u>司</u> 固定負債		0, 055, 244
長期借入金		17, 156, 000
固定負債合計		17, 156, 000
負債 合計		23, 991, 244
正 味 財 産 の 部		
前期繰越正味財産額		2, 520, 925
当期正味財産増減額		4, 851, 071
正味財産合計	F-100	7, 371, 996
負債及び正味財産合	· 計	31, 363, 240

財務諸表の注記

NPO法人CILだんない

令和5年3月31日 現在

【重要な会計方針】 財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会) によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法 有形固定資産・無形固定資産 : 定額法

(2) 消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

【事業費の内訳】

事業費の内訳は別紙のとおりです。

【固定資産の増減内訳】

(単位:円)

						(十四·11)
科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物	11, 684, 477	0	0	11, 684, 477	-3, 653, 425	8, 031, 052
建物附属設備	17, 043, 359	0	0	17, 043, 359	-17, 043, 358	1
車両運搬具	4, 585, 032	2, 212, 290	0	6, 797, 322	-4, 772, 721	2, 024, 601
機械及び装置	327, 861	0	0	327, 861	-180, 323	147, 538
什器備品	0	316, 140	0	316, 140	-59, 276	256, 864
無形固定資産						
ソフトウェア	0	782, 100	0	782, 100	-104, 280	677, 820
合計	33, 640, 729	3, 310, 530	0	36, 951, 259	-25, 813, 383	11, 137, 876

【借入金の増減内訳】

(単位:円)

				(十年・11)
科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長浜信用金庫	22, 772, 000	0	2, 808, 000	19, 964, 000
美濃部裕道	1, 159, 464	1, 545, 371	2, 380, 000	324, 835
頼尊恒信	1, 781, 301	0	1, 781, 301	0
合計	25, 712, 765	1, 545, 371	6, 969, 301	20, 288, 835

事業費の内訳(別紙)

NPO法人CILだんない

(単位:円) 令和5年3月31日 現在

NPO伝入してしたんない	'				〒和5年3月	31日 現住
科目	障害者サービスお よび介護者派 遣事業	ヘルパー育成事業	障害者の権利 擁護事業	障害者の地域 における自立 生活保障事業	余暇活動保障 事業	障害観変革事業
(人件費)						
支払報酬	711, 866					
給与手当	38, 248, 242					
法定福利費	11, 893, 448					
退職給付費用	334, 720					
福利厚生費	336, 240					
人件費計	51, 524, 516		0	0	0	0
(その他経費)						
諸謝金	552, 065					
印刷製本費	1, 536, 723					
車両費	1, 086, 917					
通信運搬費	2, 117, 607					
消耗品費	1, 201, 621					
水道光熱費	820, 295					
賃借料	240,000					
保険料	1, 725, 430					
諸会費	485, 666					
租税公課	143, 400					
支払手数料	271, 262					
支払利息	506, 088					
雑費	438, 891				2	
その他経費計	11, 125, 965		0	0	0	0
合計	62, 650, 481	CI C	0	0	0	0

科目	福祉に関する 情報提供・相 談事業	障害者団体のハブ 的機能としての支 援事業	事務機能請負 事業	広報・出版に 関する事業	上記の事業を 達成するため の事業	合計
(人件費)						
支払報酬						711, 866
給与手当						38, 248, 242
法定福利費						11, 893, 448
退職給付費用						334, 720
福利厚生費						336, 240
人件費計	0	0	0	0	0	51, 524, 516
(その他経費)						***************************************
諸謝金						552, 065
印刷製本費						1, 536, 723
車両費						1, 086, 917
通信運搬費				174, 132		2, 291, 739
消耗品費						1, 201, 621
水道光熱費						820, 295
賃借料						240, 000
保険料						1, 725, 430
諸会費						485, 666
租税公課						143, 400
支払手数料						271, 262
支払利息						506, 088
維費						438, 891
その他経費計	0	0	0	174, 132	0	11, 300, 097
合計	0	0	0	174, 132	0	62, 824, 613

財 産 目 録

NPO法人CILだんない 全事業所 (単位:円) 令和5年3月31日現在

全事業所	令和	15年3月31日現在
資産の部		
流動資産		
現金預金		
普通預金		6, 133, 662
ゆうちょ銀行	2, 911, 534	0, 100, 002
ゆうちょ銀行 振替口座	33, 182	

長浜信用金庫	3, 188, 946	0.050.000
定期積金		2, 250, 000
長浜信用金庫	2, 250, 000	
売上債権		
未収金		11, 841, 702
未収会費	30,000	
未収金(国保連)	11, 811, 702	
流動資産合計		20, 225, 364
固定資産		
有形固定資産		
建物		8,031,052
新館	6, 687, 052	0, 001, 001
本館	1, 344, 000	
建物附属設備	1, 511, 000	1
車両運搬具		2, 024, 601
機械及び装置		147, 538
什器備品		256, 864
無形固定資產		12/20/20 20/20/2
ソフトウェア		677, 820
固定資産合計	-	11, 137, 876
資 産 合 計		31, 363, 240
負債の部		
流動負債		
未払金		3, 702, 409
短期借入金		324, 835
美濃部裕道	324, 835	551,000
一年以內返済予定長期借入金	021,000	2, 808, 000
長浜信用金庫	2, 808, 000	4, 000, 000
流動負債合計	۷, ٥٥٥, ٥٥٥	G 92E 944
加 <u>斯</u> 貝頂百計 固定負債		6, 835, 244
		17 156 000
	15 150 000	17, 156, 000
長浜信用金庫	17, 156, 000	15 150 000
固定負債合計	-	17, 156, 000
負 債 合 計		23, 991, 244
正味財産		7, 371, 996

特定非営利活動に係る事業会計損益計算書

接 放	NPO法人CILだんない 全事業所	(単位:円) 自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日
受取会費		
正会員受取会費 50,000		
登取寄附金 106,150 3		200,000
受取寄附金		
要取的金 106,150 事業収益 68,037,813 その他の収益 受取利息 強収益 62 雑収益 経常果用 69,140,0 審費用 69,140,0 経常果用 51,524,5 大化費 支払報酬 送職給付費用 33,248,242 法定福利費 退職給付費用 334,720 福利厚生費 334,720 福利厚生費 11,893,448 退職給付費用 334,720 福利厚生費 1,536,723 車両費 1,086,917 通信搬費 2,291,739 消耗品費 1,086,917 通信搬費 2,291,739 消耗品費 1,725,430 財産会費 485,666 租稅公課 143,400 支払手数料 271,262 支払利息 485,666 租稅公課 143,400 支払手数料 271,262 支払利息 488,881 事業費計 62,824,6 管理費計 1,464,371 管理費計 1,464,371 管理費計 4,851,0 経常外収益 1,464,371 管理費計 4,851,0 経常外収益 1,464,3 海衛外収益 1,4		50,000
事業収益 受託事業収益 その他の収益 受取利息 費取経 常費用 68,037,813 経常外収益 常費用 746,030 経常外収益 育性 746,030 経常外収益 (金融給料手当 (金融給付費用 (金利厚生費 (金利厚生費 (金利厚生費 (金利厚生費 (金利厚生費 (金利厚生費 (金利厚生費 (金利厚生費 (金利房生費 (金利房生費 (金利房生 (金)) (金)) (金)) (金) (金) (金) (金) (金) (金)		
受託事業収益 68,037,813 その他の収益 受取利息 嫌収益 746,030 経 常 収 益 計 事業費	受取寄附金	106, 150
その他の収益 受取利息	事業収益	
その他の収益 受取利息 強収益	受託事業収益	68, 037, 813
受取利息 (62		70, 70, 70
雑収益 746,030		62
A		
経 常費用 事業費 人件費 51,524,5 支払報酬 38,248,242 法定福利費 11,893,448 退職給付費用 334,720 福利厚生費 336,240 その他経費 1,536,723 車両費 1,586,917 通信運搬費 1,201,621 水道光熱費 820,295 賃借料 240,000 保険料 1,725,430 諸会費 485,666 租稅公課 143,400 支払手数料 271,262 支払利息 506,088 維費 438,891 事業費計 62,824,6 管理費計 1,464,371 管理費計 1,464,371 管理費計 1,464,371 管理費計 1,464,371 管理費計 1,464,381,0 経常外収益 0 常外更用計 4,851,0 経常外収益 0 常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 当期経常外費用 0 当期経常外費用 0 2月 2,520,9		
事業費 51,524,5 支払報酬 711,866 給料手当 38,248,242 法定福利費 11,893,448 退職給付費用 334,720 福利厚生費 336,240 その他経費 11,300,0 前數金 552,065 印刷製本費 1,536,723 車両費 1,086,917 通信運搬費 2,291,739 消耗品費 1,201,621 水道光熱費 820,295 賃借料 240,000 保険料 143,400 支払手数料 271,262 支払利息 506,088 基業費計 62,824,6 管理費 1,464,371 管理費計 0 経常外収益 0 経常外収益 0 経常外費用 0 日本第二 0 日本第二	<u> </u>	69, 140, 055
大件費 支払報酬 711,866 給料手当 38,248,242 法定福利費 11,893,448 退職給付費用 334,720 福利厚生費 336,240 その他経費 1,536,723 車両費 1,086,917 通信運搬費 2,291,739 消耗品費 1,201,621 大道光熱費 820,295 賃借料 240,000 保険料 1,725,430 諸会費 485,666 租稅公課 243,400 支払手数料 271,262 支払利息 506,088 上 整費 438,891 年費 人件費 人件费 人种费 人种费 人种费 人种费 人种费		
支払報酬 711,866 給料手当 38,248,242 法定福利費 11,893,448 退職給付費用 334,720 福利厚生費 336,240 その他経費 11,300,0 諸謝金 1,536,723 車両費機費 1,086,917 通信運搬費 1,201,621 水道光熱費 820,295 賃借料 240,000 保険料 1,725,430 諸会費 485,666 租税公課 143,400 支払手数料 271,262 支払利息 438,891 事業費計 62,824,6 管理費 0 人件費 0 その他経費 1,464,371 資理費計 1,464,371 管理費計 1,464,371 管理費計 0 人件費 0 人件費 0 人件費 0 本常身用計 64,288,9 財務 4,851,0 経常外収益 0 経常外費用 0 経常外費用 0 海外費用 0 海外費用 0 第分集費用 </td <td> 事業費</td> <td></td>	事業費	
支払報酬	人件費	51, 524, 516
法定福利費 11,893,448 334,720 336,240 240		
退職給付費用 334,720 336,240 その他経費		
福利厚生費 336, 240 その他経費		
その他経費 諸謝金 552,065 印刷製本費 1,536,723 車両費 1,086,917 通信運搬費 2,291,739 消活品費 2,291,739 消活光熱費 820,295 賃借料 240,000 保険料 1,725,430 諸会費 485,666 租税公課 143,400 支払手数料 271,262 支払利息 506,088 雑費 438,891 事業費計 62,824,6 管理費		
諸謝金 552,065		
印刷製本費		11, 300, 097
車両費		552, 065
車両費	┃ ┃ 印刷製本費	1, 536, 723
通信運搬費 消耗品費 水道光熱費 賃借料 保険料 記会費 租税公課 支払手数料 支払手数料 支払手数料 支払手数料 支払利息 整費 人件費 人件費 人件費 人件費 その他経費 減価償却費 管理費計 第 度 用 計 当 期 経 常 増 減 額 第 外 収 益 経 常 外 根 面 経 常 外 費 用 計 当 期 経 常 外 増 減 額 利 引 前 当 期 正 味 財 産 増 減 額 4,851,0 前期繰越正味財産額 2,520,9		THE PERSON NAMED IN COLUMN TO SERVICE AND ADDRESS OF THE PERSON NAMED IN COLUMN TO SE
消耗品費		
水道光熱費	State Late Control of the Control of	
(情報) (1,725,430		
保険料		
諸会費		and the second s
租税公課 支払手数料 支払手数料 支払利息 大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		1, 725, 430
租税公課 支払手数料 支払手数料 支払利息 大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	┃ ┃ 諸会費	485, 666
支払手数料 支払利息 推費 271, 262 506, 088 438, 891 事業費計 管理費 人件費 人件費 人件費 人件費 人件費 人件費 人件費 1, 464, 371 0 管理費計 液価償却費 常費用計 当期経常増減額 常外収益 常外収益 経常外収益 常外費用 経常外費用 名常外費用 名 		143, 400
支払利息 雑費 506,088 438,891 事業費計 62,824,6 管理費 人件費 0 その他経費 減価償却費 1,464,371 管理費計 1,464,371 管理費計 64,288,9 当期経常増減額 4,851,0 経常外収益 0 経常外収益 0 経常外収益 0 経常外収益 0 経常外収益 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 当期経常外費 4,851,0 財線越正味財産額 2,520,9		
推費	古以到自	
事業費計 62,824,6 管理費 人件費 人件費 0 その他経費 1,464,371 管理費計 1,464,371 管理費計 64,288,9 当期経常増減額 4,851,0 経常外収益 0 経常外収益 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 対外費用 0 対別経常外費 4,851,0 対別経常外費 2,520,9	人切心	
管理費 人件費 0 その他経費 1,464,371 管理費計 1,464,371 管理費計 1,464,371 経常費用計 64,288,9 当期経常増減額 4,851,0 経常外収益 0 経常外収益 0 経常外費用 0 対外費用 0 経常外費用 0 対解経常外費 4,851,0 前期繰越正味財産額 2,520,9		
人件費 0 その他経費 1,464,371 管理費計 1,464,371 管理費計 1,464,371 経常費用計 64,288,9 当期経常増減額 4,851,0 経常外収益 0 経常外収益 0 経常外費用 0 対外費用 0 経常外費用 0 対別経常外費用 0 対別経常外費用 0 対別経常外費 4,851,0 対別経常外費 2,520,9		62, 824, 613
人件費 0 その他経費 1,464,371 管理費計 1,464,371 経常費用計 64,288,9 当期経常増減額 4,851,0 経常外収益 0 経常外収益 0 経常外収益計 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 対外費用 0 対外費用 0 対外費用 0 対外費用 0 対外費用 0 対外費用 0 対別経常外費用 0 対別経常外費 4,851,0 対別経常 4,851,0 対別経域正味財産額 2,520,9		
人件費 0 その他経費 1,464,371 管理費計 1,464,371 経常費用計 64,288,9 当期経常増減額 4,851,0 経常外収益 0 経常外収益 0 経常外収益計 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 対外費用 0 対外費用 0 対外費用 0 対外費用 0 対外費用 0 対外費用 0 対別経常外費用 0 対別経常外費 4,851,0 対別経常 4,851,0 対別経域正味財産額 2,520,9		0
その他経費 減価償却費 1,464,371 管理費計 1,464,371 経常費用計 64,288,9 当期経常増減額 4,851,0 経常外収益 0 経常外収益 0 経常外収益 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用計 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 対別経常外費 4,851,0 引前当期正味財産額 4,851,0 2,520,9	┃ ┃ ┃ 人件費	0
減価償却費 1,464,371 管理費計 1,464,3 経常費用計 64,288,9 当期経常增減額 4,851,0 経常外収益 0 経常外収益計 0 経常外費用 0 当期経常外增減額 4,851,0 税 引前当期正味財産額 2,520,9		1, 464, 371
管理費計 1,464,3 経常費用計 64,288,9 当期経常増減額 4,851,0 経常外収益 0 経常外収益 0 経常外収益計 0 経常外費用 0 当期経常外費 4,851,0 引前当期正味財産額 2,520,9		
経常費用計 64,288,9 当期経常增減額 4,851,0 経常外収益 0 経常外収益計 0 経常外費用 0 3 4,851,0 3 4,851,0 4 2,520,9	<u> </u>	
当期経常増減額 4,851,0 経常外収益 0 経常外収益 0 経常外収益計 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用計 0 当期経常外増減額 4,851,0 税引前当期正味財産額 2,520,9		
経常外収益 0 経常外収益計 1 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用計 0 当期経常外増減額 4,851,0 税引前当期正味財産額 2,520,9	避角質用計	64, 288, 984
経常外収益 0 経常外収益計 1 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用計 3 当期経常外増減額 4,851,0 税引前当期正味財産額 2,520,9	当期経常増減額	4, 851, 071
経常外収益 0 経常外収益計 1 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用計 3 当期経常外増減額 4,851,0 税引前当期正味財産額 2,520,9	経常外収益	0
経常外収益計 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用計 3 期経常外増減額 4,851,0 税引前当期正味財産額 2,520,9	経常外収益	0
経常外費用 0 経常外費用 0 経常外費用 0 当期経常外費用計 0 当期経常外増減額 4,851,0 税引前当期正味財産額 2,520,9		0
経常外費用 0 経常外費用計 3 当期経常外増減額 4,851,0 税引前当期正味財産額 2,520,9	経 党 外 書 田	0
経常外費用計 当期経常外増減額 税引前当期正味財産増減額 4,851,0 前期繰越正味財産額 2,520,9		
当期経常外増減額 税引前当期正味財産増減額 4,851,0 前期繰越正味財産額 2,520,9		
税 引 前 当 期 正 味 財 産 増 減 額 4,851,0 前期繰越正味財産額 2,520,9		0
前期繰越正味財産額 2,520,9		0
前期繰越正味財産額 2,520,9		産 増 減 額 4,851,071
		2, 520, 925
I/77 JH 249 和双 IL 以示 BT 成在 261	次 期 繰 越 正 味 財 産	額 7, 371, 996

監査報告書

令和5年5月22日

NPO 法人 CIL だんない 代表 美濃部 裕道 殿



私は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、 関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 活動計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

職員リレートーク

いよいよ新年度スタート --コロナ禍が明けて「チームさざなみ」--

山田 やよい (やまだ やよい)

2023年スタートし、4月新年度が始まりました。

私たちは、だんないの職員でありながら、居宅介護事業所さざなみの事業所の職員であります。これまで居宅介護事業所さざなみは、当事者の生活を支える大切な存在でありながら、職員もさざなみとしての意識が薄く、さざなみ存在そのものを表に出さず、意識できなかったのが実態でした。今年はさざなみの運営方針も確立し、さざなみの介助者として、取り組みをスタートしたこと、コロナ禍が明け活動が本格化する前に、「チームさざなみの確立」を目標にあげて実践しました。そのことをお伝えします。

居宅介護事業所さざなみ職員の意識を高めるために、当事者さんと話し合い取り組んだことは、少しさかのぼり昨年の秋から毎月毎に『介助についての強化月間』として、介助者が意識するポイント『することを口にしよう』『利用者の時間を意識しよう』などを発信しました。このようにポイントを発信することで職員のみなさんにさざなみとしての介助者のより意識を持ってもらうことができました。

さて、前置きが長くなりましたが、4月新年度の研修の第1回は、内部に向けたボディメカニクス研

修を行いました。研修は、日常の介助に役立てる実戦に活かす目的がありましたが、参加した職員は翌日から意識し、身体が楽になった、自然に力が入っていたなど発見があり、介助者が力任せに介助するより、身を預ける当事者さんにとっても、楽であることに大きな気付きがありました。自立生活の家事援助のスキルアップのためのお料理研修は、お料

理の基本や時短料理を身につけ、手軽に家事援助に活かすことができました。

研修の第2回目は外部に出向き学びました。新しい職員も増え、これまで外部で学 ぶ機会の少なかった職員と当事者で外部研修を計画し、社会福祉法人 AJU 自立の家 (名古屋)に研修に行きました。この名古屋研修は、公共の交通機関を使って在来線と 新幹線組に分かれて乗車しました。名古屋の街を歩く車椅子や視覚障害の方が実に多



かったこと。この湖北地域や関西方面でも、特別すぎる対応や視線を感じることが多いのに対して、名古屋駅である喫茶店に入ると、何か特別車椅子だからという対応でなく自然に応じてもらいました。

研修先でまず聞いて驚いたのは、ヘルパーの登録数 140 人という規模。 規模の違い驚かずにいられません。4 年間の間に生活の知識を学びながら アパートを探して自立へつなぐ。当たり前のように自立した生活を選択で きて、だれでも自然にスタートできるようなシステムが確立されていまし た。このような形が、滋賀、長浜にもあったら良いなーと思います。



次に実践したことは、研修を終えて、だんないの介助者の決まり事と介助者が意識するポイントを発信していきました。介助者が意識するポイントを改めて読んでいくと自分自身ハッとすることがあります。することを口にすることは、当事者さんの主体性を守れる基本の形ですが、私も基本がなかなかできなかったりします。性格や慣れた環境に判断を誤る勘違いもあります。自分が行動を口にして、当事者さんに確認することで、自分の行動にふりかえる気づきが大切だとおもっています。それが"当事者さんと向き合う"ということではないでしょうか? さざなみを意識した、介助者に発信する取り組みを始めてからは、だんないの活動とさざなみの介助者としての役割が整理されて、月日が経つごとに意識が高まり、毎月の成長があったとおもっています。



忘れてはならない今年のスローガンは『外に向けて「楽しむ」を伝えながら、それぞれのこれからを描いていこう!』です。テーマ通り、毎日外からの刺激を受けています。5月初めちょうど一年前に訪れていただいただんないの造園関係の職人さんに、「だんないの環境がとても綺麗になりましたね!全然違います」と声をかけていただきました。ちょうど昨年のだんないの道の原稿に、「だんないに季節を感じた

い!!」と掲げましたが、その願いがかなったようでうれしくなりました。日々外に向けて活動していると、足元は行き届かないことが多くなります。でも、職員の意識や心がけで、手入れできなかった花壇にも花を咲かせることができるんだなぁーと感じています。最近こんな言葉を目にして心に響きました。

『咲いた花を喜ぶ人は多いが、咲かせた根をねぎらう人はいない』

こんな言葉にふれて、ここに至るまでの花を咲かせる根の大切さをしみじみ感じます。職員の連携がなければ、花壇の花もしおれたり枯れたり草も伸び放題。 地域で生活するためには、日常の大切さも感じます。毎日のささやかな気づきを大切にしていきたいとおもいます。2023年度、コロナ禍が明けて本格化に活動がスタートし「チームだんない」「チームさざなみ」も動き出しました。これからも、だんないの活動とそして、地域での生活を支えるさざなみの運営を応援していただけますように、よろしくお願いします。



ボディメカニクスの奥深さ

高橋 正樹(たかはし まさき)

請求事務が終わりホッとしたのもつかの間。周りから「だんないの道」の原稿書けたの?と言われ慌てて書く始末。今思えばもう6月、もう1年の半分が過ぎようとしている。

最近1日が終わるのが妙に早く感じる。歳のせいなのか?充実しているからなのか?何かに焦っているからなのか?たまに利用者さんが朝からお出かけされ1日ひとりで事務所で仕事しているときがあるのだが、その時が特に1日終わりが早く感じ帰宅時妙に寂しさを感じる。綺麗な夕日が昇っているときはなおさら(笑)。この感じはなんなのだろうか・・・

去年から組織が変更され請求作業もガラっと変わりました。利用者さんの体調の変化、様子、移動場所、移動手段など普段から細かく記入するようになりそれに基づいて作業していきます。1ヶ月の利用者さんの活動記録を見ていると皆さんすごく充実した日々を送っているなと目に浮かんできます。このまま心身お変わりなく元気に活動されることを願いながら日々作業しています。

4月には講師を招いてのボディメカニクス研修が行われました。移動介助の基礎などとっくに忘れてしまい普段の介助でも言われるがままに介助していました。私も重いものをもつと腰痛になりやすく予防としてジムへ行って筋トレなどをして頑張っていましたがそれでもなにかと不安が残るままでした。ボディメカニクスには8原則というものがあります。

- ① 両足を開き、支持基底面積を広くとる
- ② 重心を低く保つ
- ③ 利用者さんとの重心を近づける
- ④ 利用者さんの体を広げず小さくまとめる
- ⑤ 身体全体を利用し、大きい筋肉を使う
- ⑥ 水平移動を行う
- ⑦ 押さずに手前に引く
- ⑧ てこの原理を使う

8原則のなか、3原則くらいしかわからなく、移動介助て奥が深いな~と研修中思いました。その後2人1組ペアーになりタオルを使って力の入り方を学んだり、ベッドからの起き上がり方などを学びました。周りのペアーの人達を見ていたら普段なかなかこういう研修に巡り合う機会がなかったためかすごくテンション高かったり、手前に引くとき力を入れすぎてベッドから落ちかけたりと・・・正直笑えました。でも講師に教えてもらった8原則に則ってやってみると今まで力ずくでやっていたことが、あまり力を入れずにできる感触を感じましたし、特に重心の移動の重要性がよくわかりました。もちろん介助する方だけではなく、介助される方も楽だったと言っておられました。ほんまか知らんけど(笑)。これからは移乗時ボディメカニクスを思い出し「持ち上げない」介助を実践していきたいと思う研修でした。

この前書店へ行き「介護百人一首」という本を偶然目にしました。目を通していると、「注意せよ!パワ

一介護にならぬよう重心低くボディメカニクス」と書かれていて、なるほどな~上手に書いとかぁるな~と 思い本を閉じ店を後にしました。

もうすぐ13年

横山 卓馬(よこやま たくま)

障害者が地域で自立生活を営める環境作りと、医学モデルから社会モデルへと社会を変革させていくことを掲げ設立しただんない。今年で設立 13 年、本当におめでとうございます。私自身「理事」という肩書で設立前から関わらせてもらっていますが、設立後ほどんど顔を出せていないため、これを読まれている方の 9 割は「横山って誰?」となっているかと思います。そういう方はよろしければ「だんないの道 創刊号」をご覧ください。

さて、今回代表から「原稿を書いてください。」と依頼され、承諾したものの何を書こうか今でも悩んでいます。でも、まず間違いなく言えることは13年前から今でも変わらず、どんなに困難な事が起こっても、代表をはじめ当事者職員全員が一つ一つの事柄に対して逃げずに障害者の置かれている生活環境を変えたい、周りの人が持っている考え方やイメージを変えたいという強くぶれない思いを持ち続けて活動をしてきたからこそ、多の人がだんないに惹かれ、地域に愛され、社会を変えようと日々前進を続けていけるのだと思っています。

同じような熱い思いを持っている人は世の中に多くいるかもしれません。しかし、その思いを実際に形にできる人は多くはいません。私が代表と知り合ったのは京都の大学に通っていた頃です。私が2回生の時に数年後だんないを設立する美濃部が入学してきました。それからは毎日のようにキャンパスで顔を合わせるだけではなく、だんないの初代事務局長で私たちの大先輩である頼尊さんに、頻繁に他の障害学生とともに食事に連れて頂くようになり、その中で交流を深めていきました。今改めて振り返っても、僕たちの大学時代は頼尊さんを抜きにしては語れないぐらい頼尊さんの呼びかけで障害学生同士が交流する場が多く作られ、自分の過去や持っている思いを話せる場所、障害について様々な角度から学べる時間があったことで、それまで自分が持っていた障害に対する考え方から少し開放されたような感覚になったことを今でも覚えています。

このように記憶を辿っていると、あの数年間という時間は今の私の原点であり、卒業後、大学に入学する前から構想はしていたという美濃部と市川によってだんないが設立され、現在も代表をはじめ当時のメンバーやだんないに関わっている方々と交流を持てていることを嬉しく思っています。同時に、色々な面で生きづらくなってきたように感じる現代で、だんないが少しでも障害者や助けを求めている人の心の拠り所となり、社会が少しずつ変わっていく力になればと切に願っていますし、今までと変わらず応援しています。私の思いとしては、今後はもう少し関わっていければと思っていますので、よろしくお願いいたします。

活動報告

4010	(本中 大关口)(A73)(7+0日) 大大切(1)
4月1日	障害者差別解消法7周年お祝い 滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例4周年啓発活動
3日	だんない桜をみる会
7日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議 inさざなみタウン
11日	介助者向けボディメカニクス研修
12日	「社会見学(職員研修)」AJU自立の家
13日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 あるべき姿検討班 inさざなみタウン
14日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 社会資源マップ作成プロ
15日	みんなスナック
17日	介助者向け料理研修
174	元気マンサロン
19日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会運営委員会会議 inさざなみタウン
	多様性プロジェクト
20日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護医療ケア検討班 in神照まちづくりセンター
21日	介助者向け料理研修
	生き生きサロン
23日	ネイルサロン
24日	ピアピア
25日	企画会議
26日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進班 inさざなみタウン
	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 学齢期班 in神照まちづくりセンター
27日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護虐待防止班 inさざなみタウン
5月1日	「サツマイモ苗植え」に向けての うね作り
2日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 専門的人材班 in神照まちづくりセンター
6日	えがお訪問
7日	電動車椅子サッカー リュートスター練習会
9日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 地域移行推進班 in神照まちづくりセンター
10日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議 inさざなみタウン
11日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 ライフステージ専門性部会 inさざなみタウン
12日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 社会資源マップ作成プロ inさざなみタウン
13日	障大連総会&記念講演会
14日	芋部 苗植え
15日	元気マンサロン
	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 学齢期班コア会議
16日	企画会議
17日	多様性を尊重した防災・福祉活動の推進 第3回会議
18日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護医療ケア検討班 in神照まちづくりセンター
19日	生き生きサロン
205	滋賀県ユニバーサルデザイン推進検討第1専門分科会
20日	みんなスナック
21日	子ども会さんとの共催『サツマイモ苗植えイベント』
22日	ピアピア

22□	カノル サロン
23日	ネイルサロン
24日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進班 inさざなみタウン
	家族会
25日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護虐待防止班 inさざなみタウン
26日	総会
	湖北じんけん講座
27日	DPI(障害者インターナショナル)日本会議 全国集会オンライン
	りんくすさん・ピットインさん・だんない ボッチャ体験会 in さざなみタウン
28日	DPI(障害者インターナショナル)日本会議 全国集会オンライン
	平和堂さん・長浜市社協さん・だんないボッチャ体験会 in 平和堂
30日	マルチスイッチ主催 映画観賞会 in椿坂
6月1日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 あるべき姿検討班
3日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 地域生活塾
7日	第1回滋賀県共生社会づくり委員会 条例見直し検討小委員会
8日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 生活の充実部会
0 1	伊香ブロック特別支援学級合同交流会
0.0	
9日	「共生社会サポーター」制度についての滋賀県との協議
10 🗆	滋賀県社会福祉審議会 傍聴
10日	ぽてとファーム役員会
12 🗆	いますぐ優生保護法問題の全面解決を 6.10 全国一斉アクション in 瀬田駅前 ピアピア
12日	2. 2.
14日	企画会議&黒壁スクエアのステッカー配布状況調査
15日	「大空へはばたこう~自立への挑戦」映画上映&シンポジウム
16日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 学齢期班コア会議
	生き生きサロン&だんない喫茶
17日	びわこバリアフリー剣道クラブ練習会見学
	2023 スペシャルスポーツの広場
	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 地域生活塾
	インクルーシブデザイン研究会「福祉とデザイン」
	みんなスナック
18日	ネイルサロン
19日	元気マンサロン
	ユニバーサルデザインの街づくり企画 事務局会議
21日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 運営委員会
	長浜地域福祉活動計画推進委員会
22日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護班
23日	地域生活塾打ち合わせ
	介助者向け料理研修
	ケース会議
26日	職員研修
	長浜市成年後見ネットワーク会議
27日	職員研修
	長浜市社会福祉協議会評議委員会
28日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進班
201	家族会
	かぶム

ちょこっと紹介! だんないブログ。



npodannai 4月1日、差別解消法7周年&滋賀県条例 4周年啓発活動を長浜駅周辺で行いました。

満開の桜を見に来られた観光客がたくさんおられ、用意していたティッシュはあっという間に配りきることができました。

だんないに帰ってからは、お祝いのケーキをみんなでいただきました!

そして、サプライズとして、最近入籍したメンバーと、近く誕生日を迎えるメンバーのお祝いもしました!

同時サプライズ大成功! 幸先のいい新年度のスタートとなりました。



npodannai 4月11日介助者職員向けボディメカニクス 研修を行いました。

長浜病院の音居玲子先生に講師として来ていただき、 介助をする上での身体の使い方や利用者さんへの関わり方の教えていただきました。

音居先生は、谷口や美濃部のリハビリの先生でもあり ます。

個別の介助場面に応じた研修もしていただき、実のある時間となりました。



いいね!:

npodannai 4月15日、みんなスナック○(わ)があり、参加しました。

今年度1回目となる今回は、湖北町まちづくりセンターで開催されました。

まちづくりセンターの開催は初めてで、どうなるのか ドキドキでしたが、ママやマスターとの距離感がほど よくて、たくさんお話ができました。

会場からトイレもとても近くて、みなさん好評でした。

これを機に、いろんな会場で開催できれば活動的に、より充実するなと感じました。 今後の展開に期待です!

41



npodannai 4月13日、名古屋にあるAJUを訪問させていただき、「社会見学(職員研修)」を行いました。

在来線組と新幹線組に分かれましたが、新幹線N700S型(車椅子6人乗り)に乗ることができました。感動的でした。

A」Uさんに着いてからは、伊藤さんの説明でサマリア ハウス、車椅子センター、マイライフを見学させてい ただきました。

行政との関係構築の大切さや、当事者と介助者を確保・育成することの難しさ、イベントを企画して人とつながっていくこと、組織運営についてなど、たくさんのことをお話しいただき、とても貴重な時間となりました。

帰りは名古屋駅のカフェで振り返りを行い、今後の活動や運営について思いを新たにしたところです。

AJUさん、お忙しいなかで時間を割いていただき、ありがとうございました!

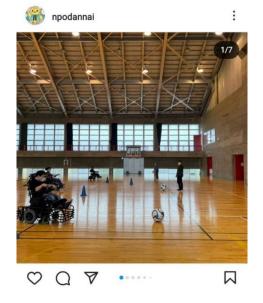




npodannai 5月1日、二週間後に開催する、子ども会との共催イベント「サツマイモ苗植え」に向けて、うね作りを行いました。

たくさんの方にご協力いただきながら、苗植え準備を 進めることができました。

二週間の当日も、良い天気に恵まれ、たくさんの子ど もさんが来てくれることを願います。



npodannai 5月7日、ほぼ半年ぶりとなる電動車椅子 サッカーの練習会を行いました。

リュートスターとして集まるのも3月のイベント以来 だったので、久しぶりに会って嬉しかったです。

プレーできない選手もいましたが、声を出しての練習 は新鮮でした!

ボッチャも楽しめて、充実した時間となりました。

今年度の予定も決めることができ、リュートスターの 活動本格始動です!





:

npodannai 5月13日、障大連総会&記念講演会に参加しました。

大阪・東住吉区の初めての会場で、迷いながら何とか 到着しました。

コロナが5類に移行し、大勢の参加者で、久々に会う 方も多かったです。

総会では活動報告や活動計画などを聞いて、改めて大阪の運動の大きさを感じ、今後のだんないでの活動への参考となりました。

後半の記念講演会では、強制不妊手術をはじめとする 優性問題について考えました。

基本的な実情について再確認できました。

たくさんの仲間の熱気に触れ、明日からの活動の糧 (かて)となりました。





:

npodannai 5月26日、NPO法人C | Lだんないの定期総会を開催しました。

お忙しい中、皆さん委任状含めて出席していただき、 滞りなく無事に終わりました。

これで、だんないも一年間、続けることができました。

皆さん、建設的な議事進行をありがとうございました!





npodannai 5月22日、2年ほど続けている、びわこ学園「えがお」に通う当事者に向けての取り組んでいるピア活動「ピアピア」がありました。

今回は、だんないがコロナ前から取り組んできた「お 手伝いしますステッカー活動」について、黒壁スクエ アにおいて伝えました。

今後、この活動を再開し、一緒に取り組むことになりました。

パワーアップして再スタートできて、嬉しい気持ちになりました!

:

久しぶりの再会もあり、感慨深くなりました。





npodannai 5月26日、第1回 湖北じんけん講座が木之本スティックホールがあり参加しました。

京都の崇仁地区で部落差別問題について活動されている藤尾まさよさんがお話しされました。

被差別地域に生まれての赤裸々な実体験や活動内容について聞くことが出来ました。知らないこと・知ろうとしないことは差別を伝え残す行動そのものだという言葉が印象に残りました。また、声をあげ続けることの大切さも訴えられておられました。

部落差別問題と障害問題は根底は同じだと思うので、 繋がりを持ちながら活動出来ればと思います。



npodannai 5月27日、さざなみタウンで、りんくすさん・ピットインさん・だんないの3団体による、ボッチャ体験会を開催しました。

2か月に一度定期開催している、このイベントも4回 目ほどとなり、恒例化しつつあります。

図書館の利用者は少なめでしたが、その分ひとりひとりの方とたくさん楽しむことができました。

びわこ学園えがおの当事者さんにも楽しんでもらえて 良かったです!

npodannai 💮

O O A



いいね! 他 npodannai 5月30日、マルチスイッチさん主催で、余 呉町椿坂の高齢者に向けて交流会が行われました。 歓談したあと、皆さんと映画を見ました。

「障害者のためだけではなく、地域に住む人たちのために、なにかをしたい!」という木村さんの思いに共感し、だんないも応援しに行きました。

想定していたよりも多くの方が来られたそうで、幸先 いいスタートとなりました。 これからの行方が楽しみです!

npodannai 6月8日、伊香ブロック特別支援学級合同 交流会が伊香ツインアリーナで開催され、ボッチャの 講師としてお招きを受けました。

旧伊香郡内にある小中学校の特別支援学級に在籍する 子どもたちと、ボッチャを通して交流することができ ました。

わんぱくで元気な子どもたちの姿にほほえましくなり ました!

電動車椅子の子どもさんもおられ、ランプスを使って もらえて良かったです!

 \Box



Q

V



:

npodannai 6月9日、滋賀県庁に「共生社会サポーター」制度について、障害福祉課の担当者の方と、より良いシステムにすべく話し合いをしに行きました。ステッカーの配布手続きやPR方法など、こちらからさまざまな提案を行い、担当者の方からは前向きな返答もいただき、建設的な話し合いができました。県民のみなさんと共生社会を創り上げていくという素晴らしい制度だと思うので、より運用しやすくて、有効的な仕組みにしていくことで、さらなる共生社会の構築につなげられればと願ってやみません。

午後は滋賀県社会福祉審議会があり、傍聴しました。 私も関わったユニバーサルデザイン行動指針の答申が 承認されました。

何度も会議を重ね、コロナで協議中断もあった、この

感慨深さと同時に、制度が作られていく過程を知ることができて、貴重な時間でした!





npodannai 6月10日、いますぐ優生保護法問題の全面解決を 6.10 全国一斉アクションが、瀬田駅前であり参加しました。

有志10名程が集まり、300枚のチラシを2時間ちょっとで配りきりました。

宮城、東京、愛知、滋賀、京都、大阪、兵庫、福岡、大分の9ヵ所で行われた今回の取り組みで、全面解決に向けた機運が作られることを願います。

蒸し暑い中挫けかけそうになりましたが、皆さんの協力で最後までやりきることが出来ました。お疲れ様でした!



O O A



npodannai 6月14日、長浜駅周辺で企画会議を行い、その後黒壁スクエアでステッカー配布状況の調査を行いました。

企画会議では、この夏のイベント計画を確認したり、 今後の啓発活動の展開について考えたりしました。

その後の黒壁では4年前まで取り組んでいたステッカーの配布状況を調査しました。

店をたたんでいたり、新しい店ができていたりして、 コロナ中の変化を感じました。

えがおのメンバーと活動することをすっかり忘れてしまっていて、申し訳ないことをしてしまいました。

これから、本格的な活動に向けて準備を進めていこう と思います。

:





npodannai 6月15日、東大阪市で行われた「大空へはばたこう〜自立への挑戦」映画上映&シンポジウムに参加しました。

この映画は、日本で入所施設が作られた背景や、世界で広がった施設をなくす運動、現在の入所者の生活状況などが映し出されていました。今後のあるべき展望が描かれていて、見ごたえがありました。

第二部では、6名の出演者によるディスカッションが行われ、行政や地域、家族、支援環境の問題が取り上げられ、日本の問題が浮き彫りとなりました。

今後、この映画を自立支援協議会で上映したいと心新たにしました。

それにしても、施設の閉鎖性や、日本の施設ありきの福祉構造など根深い問題を感じた1日でした。







npodannai 6月17日午前、伊香ツインアリーナで開催された「びわこバリアフリー剣道クラブ」の練習会を見学しました。

普段は、草津の障害者スポーツセンターで練習されて いるようですが、今回は北部でも活動を広めようと計 画され、伊香高校の津田先生からの情報提供で参加し ました。

実際に胴着を着せていただいて剣道の体験もさせていただきました。

理事長の三苫さんも、とても情熱的でフレンドリーな 方で、熱心に説明いただきました。

今後、より発展することを期待しています。

終わってから向かいのアリーナでは、障害者スポーツ のイベントもあり、それも見学することができて、濃 密な時間となりました。 く PPODANNAI 投稿







npodannai 6月16日、生き生きサロンを開催し、絵はがきづくりと、喫茶だんないを実施しました。

どちらの取り組みも外部から講師をお願いし、それぞれ地域の おばあさん方に楽しんでもらいました。

「ここまで生きてきて、初めて体験した」とか、「こんなことができて、ありがたい」とか、うれしいお言葉をいただきました。

その名のごとく「生き生き」としたおばあさんたちの姿に、企画して良かったなーと思いました。

講師のみなさん、ありがとうございました!

6月16日





npodannai 6月26日~27日、バーティ・バーティの椎名をお招きし、毎年恒例となった介助者研修を開催しました。

「介助と仕事」をテーマに自分・ウチ・外・ヨソの関係を考え合ったり、「自分」と「法人だんない」との関係を考えたりしました。その中で生活介助と活動介助は、どちらも大切で、自分自身が役割を持ちながら関わっていくことの大切さを再確認できました。

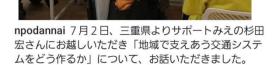
一日目の研修が終わってからはマルチスイッチさんの 事務所(余呉町椿坂)を訪問し、椎名さんに椿坂の雰 囲気を味わっていただきました。

その後は懇親会で今後の活動や楽しいお話で盛り上がりました。

椎名さん、2日間4クール、ありがとうございました。

 \square





ご自身の体験に基づくバリアフリー事情や、サポート みえでの日頃の思いなどを伝えていただきました。

また、日本まんなかプロジェクト構想についても、みんなで話し合うことができて、貴重な時間となりました。

今後の展開が楽しみです!



npodannai 7月13日、長浜市健康推進委員さんのボッチャ交流会があり、お招きいただきました。

総勢50人ほどおられ、各地区に分かれて真剣勝負のトーナメント戦が繰り広げられました。

終盤に進むにつれて、戦いもヒートアップし、興奮冷めやらぬ盛り上がりとなりました。

長浜にボッチャブームを巻き起こし、ユニバーサルデザインの街づくりに向けて活動展開中です!

#ボッチャ #cil



npodannai 7月6日、再来年に開催される「わた SHIGA輝く国スポ・障スポ」のメイン会場となる 「HATOスタジアム」へ、バリアフリーに向けた現地視 察会に参加しました。

選手・関係者や観客のみなさんが彦根駅から主会場であるHATOスタジアムに歩いていかれることを想定し、主にソフト面についての意見交換を行いました。

熱中症注意報が出る中で、とても暑かったですが、ここでだんないの真骨頂を見せようと体力と頭をフル回転させました。

ハード面はすでに出来上がっている箇所も多く、どこまで取り入れられるかわかりませんが、スタッフ研修実施やサインの見やすさ改善など、よりユニバーサルデザインな国体の運営になるように、だんないとしてできることを取り組んでいきたいと思います。

視察会に参加されたみなさん、お疲れ様でした!



が「いいね!」しました

npodannai 7月17日、だんないパーペキューを開催しました。昨年と同じく元気マンサロン後に海の日に開催しました。地域の方にたくさん参加してもらえて良かったです。ビールサーバーも好評でした。また普段会えない当事者の仲間にも再会し、いろいろお話できて楽しかったです。18時からはスナックもあり、いつもは喋らないような内容をみんなで話せて新鮮でした。もう少しおじいさんにも残ってもらえたら良かったと思います。皆さん暑い中お疲れ様でした!

*#バーベキュー #BBQ #cil



挿絵・題字 五十嵐 美里(いがらし みさと)

編集後記

今年もいつの間にか梅雨が明け、本格的な夏になりました。皆様はお元 気でお過ごしでしょうか。

今回は、長年だんないと共に活動してくださっている職員たち、そして外部 理事の横山の興味深い原稿によって、また少し違った新鮮な内容をお楽し みいただけたのではないかと思います。それぞれの内に秘めた"熱い"思い が伝わってきました。

とは言っても"あつい"のは思いだけで、これ以上"暑く"なってほしくはない ですね。皆様も、くれぐれも夏の体調管理にはお気を付けください。

今号もお読みいただき、ありがとうございました。

(編集部)

NPO法人CLLだんない

代表 美濃部裕道 副代表 中川佑希 理事谷口健人、前田貴行、横山卓馬

URL: cil-dannai.jp

郵便振替口座番号:ゆうちょ銀行木之本支店 00940-2-209115

加入者名 : NPO 法人 CIL だんない

T529-0423

滋賀県長浜市木之本町千田681番4

TEL: 0749-50-3639 FAX: 0749-50-3961

E-mail: info@cil-dannai.jp